

～普代中学校2年生の描く未来の普代村～

〈事務局用手引き〉

ワークショップの目的

このワークショップでは、村が今年度策定する「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」並びに「第4次普代村総合発展計画後期基本計画」を検討するにあたり、若い世代の村に対する思いを計画に反映させることを目的に、中学生を対象として、現在と将来の村づくりについて考え、意見を集約するワークショップを開催します。

中学生と若手職員とが、共に普代村の未来について考えることで、村政への参加意識や意欲が高まり、村への愛着や誇り、関心を高めるきっかけとなることを期待するものです。

ワークショップの結果は、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議等へ報告し、計画案作成時の参考資料といたします。

ワークショップの3つのねらい

- 普代村ってどんなところ…？ 「村のいいところ」、「村の気になるところ」を考える。
- 将来どんな村にしたい…？ 「こんな普代村になってほしい！」を考える。
- 自分たちには何ができる…？ 「こんな普代村に」を実現するために、自分たちでできることは何かを考える。

ワークショップの計画・実施の留意点

- ワークショップの進行には、十分なディスカッションを行い、ワークショップの目的を達するために、時間配分は「1時間」とする。※中学校の都合により時間延長はできません。
- ワークショップの目的は何か、何をするのか、中学生に理解してもらった上で開始する。
 - ・オリエンテーションでワークショップの目的を明確に示す。
 - ・参加者に知らせたい情報は、ボードや紙に書いて見えやすい場所に掲示する。
- 地域創生研究会のメンバーは、中学生が自由に考えや意見を発言できるように促し、可能な限り自由な討論を引き出す。また、活発なディスカッションができるように、リラックスした雰囲気づくりを工夫する。
- 事務局はワークショップの進行役、タイムキーパー、グループワークの促進役を務める。
 - ・時間割通りに進行できるよう留意し、必要に応じて作業の残り時間（10分前、5分前など）をコールする。
 - ・各グループの進捗に目を配り、作業が滞っていたり、雰囲気が沈滞しているグループには助言をし、その進行を助けます。
 - ・手引きの手法にこだわらず、参加者数や状況に合わせて、より活発でスムーズに議論できる方法で行う。

準備

日時と会場の選定

- ・全会員が出席できるような日時、会場を選定する。

ワークショップの案内と出欠確認

- ・ワークショップの目的や意義、その内容が普代村の将来にとっていかに重要なものであるか、心のこもった表現で伝える。

受講者リストの作成・グループ分けとグループリーダーの決定

- ・1グループの人数は5～6人程度とする。年齢・性別・職位・職歴などに偏りのないように配慮する。
- ・グループリーダーには、ワークショップの趣旨を理解し、人の話をよく聞いて、適切なリードができる人を選ぶ。
- ・事前にグループリーダーによる模擬ワークショップを行い、ワークショップの手法や進行を理解してもらう。

掲示用資料の作成

- ・ワークショップの時間割、注意事項を大書する。

受講者用の教材・道具の準備

飲み物などの手配

- ・参加者の息抜き、気分転換のために用意する。

受講者用の教材・道具

ワークシート1、2（各グループに1枚ずつ）

サインペン、マーカー／中字（受講者各1本）

- ・できるだけ持参していただくようにする。当日忘れた人のために数本用意する。

サインペン、マーカー／太字カラー（グループに各4～5本）

短冊又はポストイット／10 cm×7.5 cm程度（受講者数×20～30枚程度）

クリップ（短冊の分類・生理用）

セロテープ

模造紙／ワークシート1用（グループ数）

模造紙／発表資料用（グループ数）

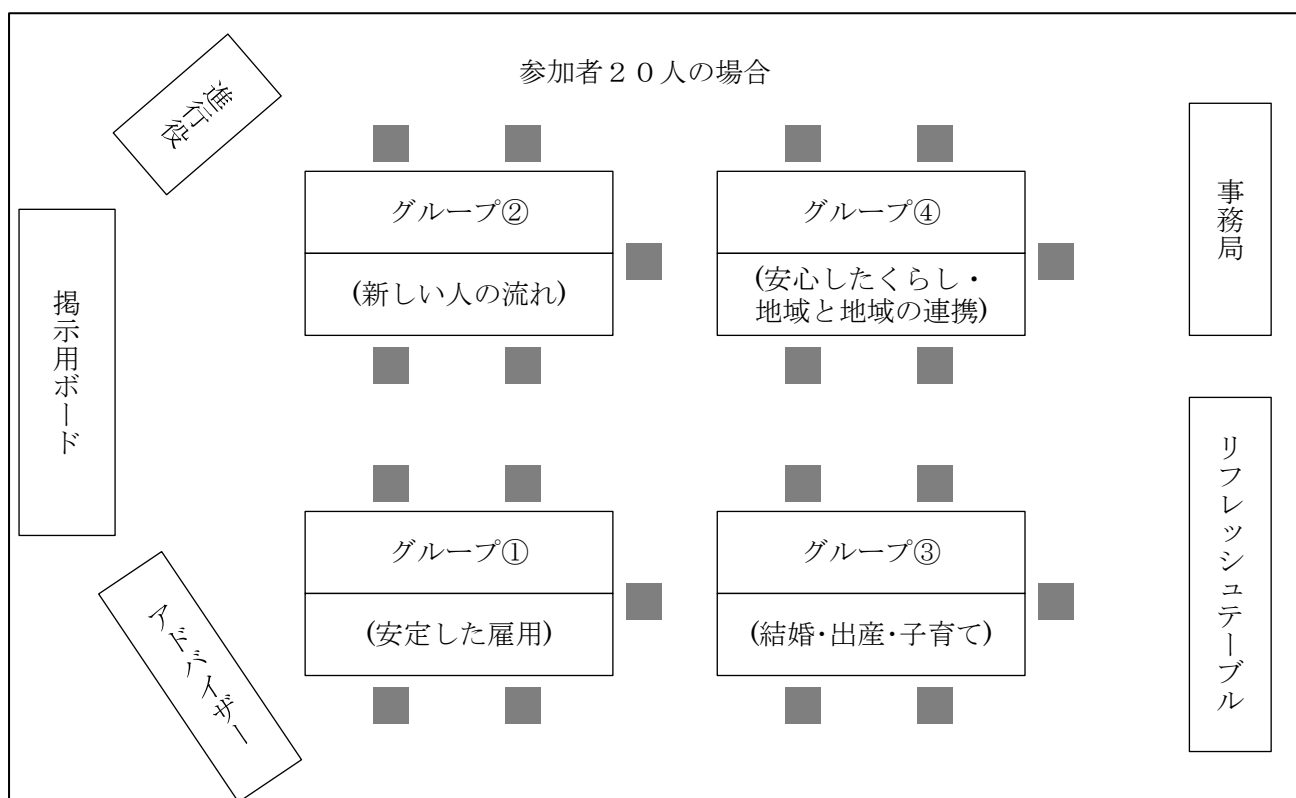
掲出用ボード

その他

会場の設営

- グループごとのテーブル、掲示用ボード（なければ壁を利用）を配置する。
- 掲示用ボードに時間割、注意事項を掲示する。
- 受講者用の教材・道具を各テーブルの上に並べる。
- 会議後方のリフレッシュテーブルにお茶、水などをセットする。

■会場設営の例



■掲出用資料の作成例

「第4回普代村地域創生研究会」
～普代中学校2年生の描く未来の普代村～

とき 10月2日(金)午後2時～
ところ 普代村役場3階 大会議室

- 1 開会
- 2 オリエンテーション(5分)
- 3 自己紹介(5分) ※1人30秒
- 4 ワークショップ(60分)
 - (1) 村のいいところ・伸ばしたいところ
 - (2) 村の気になるところ・変えたいところ
 - (3) 今後村で取り組むべきこと・やるべきこと
 - (4) 理想の普代村(将来像)
- 5 発表(20分) ※1グループ5分程度
- 6 講評(5分)
- 6 閉会

ブレイン・ストーミングの注意点

- ・自由奔放
⇒奔放な発想を歓迎し、とっぴな意見でもかまわない
- ・批判厳禁
⇒どんな意見が出てきても批判しない
- ・質より量
⇒数で勝負、量の中から良いものが生まれる
- ・便乗発展
⇒出たアイデアを結合し、改善して、発展させる

ディスカッションの注意点

- ・人の話をよく聞き、否定しない
- ・演説はしない、意見発表は簡潔に
- ・議論は前向き、建設的に

■第4回地域創生研究会（ワークショップ）の進行

指示 グループ（参加者）に対する指示

説明 作業内容や注意事項などが必要な事項

流れ	時間	内容
開会	00分	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定刻となりましたので「第4回普代村地域創生研究会」を開催いたします。 ・本日は、普代中学校2年生18名と佐藤校長先生から参加をいただいて、研究会ワーキンググループを進めてまいります。 ・校長先生、中学生の皆さん、よろしくお願いいたします。 ・遅れましたが、私は本日の進行役を務めます、役場地域創生室の道下と申します。よろしくお願いいたします。
オリエンテーション	05分	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のワーキンググループは、1時間30分、終了時間、午後3時30分までとなっております。短い時間ですので、早速、オリエンテーションに入ります。 ・まず、はじめに地方創生について、お話しさせていただきます。 ・中学生の皆さんも地方創生という言葉聞いたことがあると思いますが、地方創生とは、各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をつくること、魅力あふれる地方のあり方を築いていくことが地方創生であります。 ・平成25年3月に公表された、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成22(2010)年の普代村総人口3088人が、これから25年後の平成52(2040)年には、1966人（▲36.3%）まで減少し、平成72(2060)年には、1050人（▲66.0%）まで減少するという推計が報告されています。 ・今年度、全国の地方公共団体、都道府県や市区町村、約1800の団体は、魅力あふれる地方のあり方を考え、人口減少の抑制や新しい地方の創造に対して、5カ年の計画を策定いたします。その計画のことを総合戦略といいます。 ・普代村も、今月末までに総合戦略を策定するよう作業を進めており、本日のワーキンググループが、総合戦略案の策定に係る最終作業となります。 ・次に、本日のワーキンググループのねらいと目標について説明いたします。 ・本日は、ワークショップ形式で、普代村のいいところ、気になるところを皆さんで出し合い、それに対してやるべきことと、25年後の理想とする普代村の将来像を考えていただきます。 ・最後に、各グループによる発表も行っていただきます。

		<ul style="list-style-type: none"> ・本日、中学生の皆さんが考えた提案内容については、村の総合戦略に反映する参考資料とさせていただきますので、たくさんの提案をお願いいたします。
自己紹介	05分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それではワークショップを行う前に各グループで自己紹介をしていただきます。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人30秒でお願いいたします。 ・研究会メンバーは、名前と所属、担当している係・業務の内容を、中学生は、名前、部活、普代村の好きなところを1つ紹介してください。 ・研究会のグループリーダーから時計回りで進めてください。 ・それではお願いいたします。 <p>(自己紹介)</p>
ワークショップ	60分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの自己紹介が終わったようですので、次に、各グループで記録係1名を決めてください。記録係は、研究会のメンバーが行ってください。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、中学生全員で行います。後で発表方法を説明いたしますので、お願いいたします。 ・研究会のメンバーの皆さんは、中学生が自由に考えや意見を発言できるように促し、可能な限り自由な討論を引き出すようお願いいたします。また、活発なディスカッションができるように、リラックスした雰囲気を進めてください。 ・ワークショップを進めるうえでの注意点は、ホワイトボードに掲示してありますとおり、自由奔放、批判厳禁、質より量、便乗発展、人の意見をよく聞き、否定をしない、議論は前向きに、建設的にお願いします。 ・次に、本日のワークショップの目的と目標を説明いたします。 ・ワークショップの目的は、中学生の皆さんと役場の若手職員とが、共に普代村の未来について考えることで、普代村政への参加意識や意欲が高まり、村への愛着や誇り、関心を高めるきっかけとなることを期待するものであります。 ・また、目標は、今の普代村を考え、いいところ、伸ばしたいところ、気になるところ、変えたいところを皆さんで出し合い、今後、村で取り組むべきこと、やるべきことを話し合います。 ・最後に、25年後の理想とする普代村、住み続けたい普代村の将来像を共有することが、本日のワークショップの目的と目標であります。 ・ここまでの説明で、質問等がありますか？ ・なければワークショップを始めます。 <p>(10分)</p> <p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、普代村のいいところ、伸ばすべきところを考えます。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にテーマはありませんので、自由に思いついたことをポストイット

		<p>1枚に一つずつ書き出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いつくまま、数をたくさん出してください。 ・一人5枚程度を目標に、単語あるいは短文で簡潔に書いてください。 ・時間は10分です。それでははじめてください。 <p>(10分) 指示 ・時間となりましたので、やめてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は、普代村の気になるところ、変えたいところを考えます。 <p>説明 ・先ほどと同じように、一人5枚程度を目標に、単語あるいは短文で簡潔に書いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間は10分です。それでははじめてください。 <p>(15分) 指示 ・時間となりましたので、やめてください。</p> <p>説明 ・書き出したものを模造紙に並べ、各自がその思いを発表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての発表が終わったら、同じものや類似したものを揃えて、グループ分けしてください。 ・そのグループごとに線で囲み、見出しを付けます。見出しは単語で結構です。 ・時間は15分です。それでははじめてください。 <p>(10分) 指示 ・時間となりましたので、やめてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は、今後取り組むべきこと、やるべきことを考えます。 <p>説明 ・左の2つの枠の内容を踏まえ、今後、取り組むべきこと、やるべきことをポストイット1枚に一つずつ書き出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人5枚程度を目標に、単語あるいは短文で簡潔に書いてください。 ・時間は10分です。それでははじめてください。 <p>(10分) 指示 ・時間になりましたので、やめてください。</p> <p>説明 ・書き出したものを模造紙に並べ、各自がその思いを発表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左の2つの枠と対応させながら、右側に整理してください。 ・最後に、整理した内容を踏まえ、どんな村になるか、したいか、普代村の将来像を枠に記入します。 ・将来像は、何個でも結構です。 ・時間は10分です。それでははじめてください。 <p>(05分) 指示 ・時間になりましたので、やめてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここで5分間の休憩を取ります。 ・開始の時間は午後3時10分からとします。 <p><休憩></p>
--	--	--

発表・講評	20分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これより、各グループの発表を行います。 ・発表時間は1グループ、5分程度といたします。 ・発表者は、中学生とし、できるだけ全員が発表するよう、項目ごとに発表してください。 ・全グループの発表が終わりましたら、校長先生より感想をいただきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。 ・それでは、グループ1から順に発表をお願いします。 <p><グループ発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表が終わりました。 ・ここで佐藤校長先生から感想をいただきます。 <p><校長先生の感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。
まとめ	00分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日目標としておりました、普代村のいいところ、気になるところ、やるべきこと、将来像、全てが出されました。 ・提案内容については、事務局で取りまとめの上、総合戦略案の策定に係る参考資料とさせていただきます。 ・長時間にわたり、中学生の皆さん、校長先生、職員の皆さん、大変お疲れ様でございました。 ・以上をもちまして、普代村地域創生研究会第4回ワーキンググループ、「普代中学校2年生の描く未来の普代村」ワークショップの一切を終了いたします。 ・本日は大変ありがとうございました。
おわり		

普代村地域創生研究会 第4回ワーキンググループ資料

ワークシート「普代中学校2年生の描く未来の普代村」

普代村のいいところ、伸ばしたいところ	普代村の気になるところ、変えたいところ	今後、取り組むべきこと、やるべきこと
		将来像（25年後の理想とする普代村）